



嘔吐物等の処理の実際

相模原市 保健所 疾病対策課
感染症対策班

あらかじめ用意しておくもの



- ① マスク
- ② 手袋 (防水)
- ③ エプロン (防水)
- ④ シューズカバー (防水)
- ⑤ 次亜塩素酸
ナトリウム
- ⑥ 新聞紙又は布
- ⑦ ゴミ袋
- ⑧ バケツ

- これらの物品をひとまとめにセットしておく
- 置き場所をスタッフ全員が知っておく



1 環境の整備

1-1 応援を呼び、周囲の人を遠ざける。

最低でも、半径2m以上の距離をとる。

1-2 嘔吐者はその場になるべく居てもらう。

嘔吐した人が動くと、嘔吐物を拡げてしまうことになるため、なるべくその場で着替えてから移動させる

1-3 換気を行う

消毒による塩素ガスの発生や、乾燥したウイルスが舞い上がり、吸い込んでしまうことがあるため、必ず実施

2 身支度をおこなう

2-1 身支度

- ・ 時計を外し、袖をまくる
- ・ 髪が長い場合には髪を結う
- ・ 防御グッズの装着
(手袋、マスク、エプロン、シューズカバー)



- **グッズのサイズを平常時に確認しておく！**
- **作業は原則2人で行う！**
- **しゃがんだ時、エプロンの裾が床につかないように！**

3 有機物を取り除く

3-1 嘔吐物をふき取る

有機物が残っていると消毒効果が薄れるため、必ず取り除く



- 外側から内側へ！
- ふき取り方向を一方向！
- 1度拭き取ったら
ビニール袋へ！

4 有機物の処理

4-1 取り除いた有機物を処理する

使用した新聞紙や布は、すぐにビニール袋へ。
最後に、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を、
新聞紙や布が浸るまで入れる。



5 有機物の不活化

5-1 床とその周辺の消毒

嘔吐物がついた床と周辺を布や新聞紙で覆い
0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液をかける。
10分間浸した後にふき取り、ビニール袋へ。



広範囲に！

半径2mまで飛んでいることもある

消毒液をかける時は・・・

- 低い位置から！
- 静かに！

6 片付け

6-1 嘔吐物がついた物を片付ける

嘔吐物の付いた新聞紙や布は、ビニール袋にまとめる



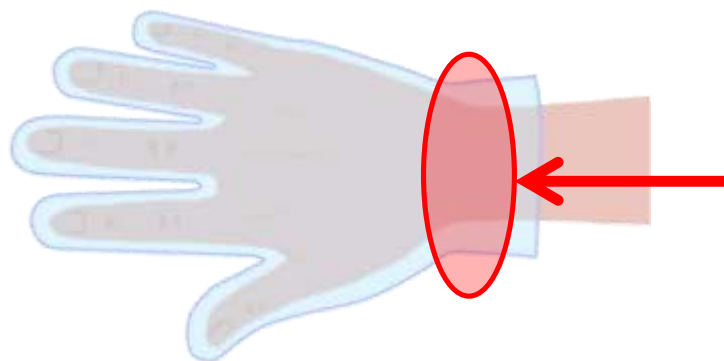
- ビニールは2重！
- 口をしっかりしばる！
- 蓋付きのバケツ等にいれる！
- 保管は人通の少ないところ！
(食品関係者が通るところは厳禁！)

7 防御グッズをはずす

7-1 手袋をはずす

① 手袋の手首部分をつまみ引き上げる

※ 汚染部分が手首につかないように！



● このあたりをつまみ、
引き上げる

② 中表に外した手袋を片手ににぎる

③ 手首と手袋の間に手を入れ、中表に外す



7 防御グッズをはずす

7-2 エプロンとシューズカバーをはずす

- ① 首の紐を肩辺りから前に引っ張り切り、前に垂らす

※ 首の後ろに手を回さない！

- ② 腰紐を腰骨辺りから前に引っ張り切り、中表に丸め外す。

※ 腰の後ろに手を回さない！

- ③ 靴とシューズカバーの間に手を入れ、中表にするように外す。



7 防御グッズをはずす

7-3 マスクをはずす

① 耳にかけている紐をはずす



● この紐をつまみ、はずす

最後に必ず
念入りに
手洗いを！

